

一 対象 小学校 高学年

二 主題名 あきらめない心

三 ねらい

より高い目標を立て、希望と勇気をもち、くじけずに努力する態度を育てる。

(1) (2)

四 発達の段階と資料の特質

小学校高学年の児童は、ある人物の生き方にあこがれをもち、高い理想を追い求め始める時期であり、また、夢と現実との違いを意識し始める時期でもある。この時期に、様々な生き方への関心を高めるとともに、計画的に努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、自分の理想に向かって着実に前進していくこうとする強い意志と実行力を育てたい。

本資料は、孫の死や口蹄疫の発生を乗り越えた畜産農家の主人公が、和牛の全国審査会で日本一をとるという高い目標を掲げ、それを有言実行していく内容である。仲間と協力し、家族に励まされながら苦難を乗り越え、目標を達成していく主人公の行動や心情に迫ることで、何事にもくじけないで努力していくこうとする心情を育てることができる。

五 展開例

1 宮崎牛が二大会連続日本一を獲得したという新聞記事の見出しを見て感想を話し合う。

2 資料「あかね てっぺんとつたぞ」を読んで、話し合う。

(1) 口蹄疫で、飼っていた牛をすべて殺処分された永友さんは、どんなことを考えていたでしょう。

(2) 県の代表を決める審査会の前にプレッシャーを感じていた永友さんはどんな気持ちだったでしょう。

(3) 日本一が決まり、ガッツポーズをした永友さんはどのような気持ちだったでしょう。

3 これまでに「あきらめずにがんばってよかった」と思ったことについて話し合う。

4 苦難に負けず目標に向かってがんばっている人について教師の話を聞く。

六 指導上の留意点

導入で、日本一の喜びにわく代表团や県民の様子の写真などを示すことで、資料への関心を高める。

展開後段や終末段階で、心のノート「夢に届くまでのステップがある」のページも活用できる。

七 参考資料等

永友さんへのインタビュー、新聞記事、JNN九州沖縄ドキュメント「ムーブ」等を参考にしてストーリーを構成した。